

令和2年第4回燕市議会定例会
一般質問日程表

| 質 問 日 | | 質 問 者 | | | 質 問 方 式 | |
|-----------|----|-------|-----------|---|---------|------|
| | | | | | 一括質問 | 一問一答 |
| 12月 9日(水) | 午前 | 1 | 渡邊 雄三 議員 | | ○ | |
| | 午後 | 2 | 小林 由明 議員 | | ○ | |
| | | 3 | 樋浦 恵美 議員 | | ○ | |
| | | 4 | 長井由喜雄 議員 | | ○ | |
| 10日(木) | 午前 | 5 | 柴山 唯 議員 | | ○ | |
| | | 6 | 土田 昇 議員 | | ○ | |
| | 午後 | 7 | 田澤 信行 議員 | | ○ | |
| | | 8 | 埴 豊 議員 | | ○ | |
| | | 9 | 宮路 敏裕 議員 | | ○ | |
| 11日(金) | 午前 | 10 | 齋藤 信行 議員 | ○ | | |
| | | 11 | 堀 勝重 議員 | | ○ | |
| | 午後 | 12 | 柳川 隆 議員 | | ○ | |
| | | 13 | タナカ・キン 議員 | | ○ | |
| | | 14 | 中山 眞二 議員 | | ○ | |
| 14日(月) | 午前 | 15 | 岡山 秀義 議員 | | ○ | |
| | | 16 | 大岩 勉 議員 | | ○ | |

令和2年第4回燕市議会定例会「一般質問表」

| 発言の順序 | 発言する議員 | 質問項目(大項目) | 質問要旨(中項目) | 具体的な内容(小項目) |
|----------------------|-----------------------|--|----------------------------------|--|
| 1 | 渡邊雄三 (一問一答方式) | 1. 令和3年度予算編成について | (1) 令和3年度予算編成について | ①新型コロナウイルス感染症の影響により、我が国の経済及び、財政の状況は大変厳しいが、本市としてどのように捉えているのか伺います。 ②本市の財政状況も大きく影響を受けることが予想されるが、令和3年度の予算編成の見通しと方針について伺います。 |
| | | 2. デジタル化について | (1) 行政のデジタル化に対する本市の考え方について | ①デジタル化による行政の変革を、国の新たなIT戦略とする位置付けについて、これに対して本市の見解と、それを踏まえた本市の今後の取り組みについて伺います。 |
| | | | (2) 市民生活の利便性の向上と行政の効率化とコスト抑制について | ①市民に対して、公平かつ迅速に最適なサービスの提供をして、市民の利便性向上を図る必要が求められるが、市の考えを伺います。 ②デジタル化を進めることで、行政事務の効率化を進めるとともにコストの削減にもつながると思うが、市の考えを伺います。 |
| | | | (3) マイナポータル活用について | ①本市においては、「マイナポータル・ぴったりサービス」にあるメニューの中から、何と何を既に活用し、今後追加を検討している項目があるのでしょうか伺います。 |
| | | | (4) マイナンバーカード活用について | ①マイナンバーカード発行枚数と人口比は何%なのか伺います。 ②マイナンバーカードを活用したコンビニ交付サービスによる各種証明書の発行を推進してもらいたいが、どのように考えているのか伺います。 |
| 3. 持続可能な開発目標SDGsについて | (1) 持続可能な開発目標SDGsについて | ①本市においても、SDGs「持続可能な開発目標」に取り組むことは、大変意義のあることと思うが、現状と今後の取り組みについて伺います。 | | |
| 2 | 小林由明 (一問一答方式) | 1. マチナカの変化と今後について | (1) いちびの課題について | ①マチナカでは空き家の解体をはじめ、多くの店舗や家屋などが、改築、建て替えの時期を迎え、都市環境の変化が目につくようになってきた。 そうした中で、住居新築や店舗用地の購入を検討したが、定期いちびなどにより、道路が頻繁に通行止めになるという不便さから、マチナカへの移住や開業を諦めたという深刻な声も聞かれるようになってきている。 露店出店者、露店と商店の利用者、地域住民のためにも、今後はこれまでの道路をシェアするいちびのカタチから、周辺の空きスペースを活用する新しいいちびのカタチへの移行を決断すべきではないか。 ②現在は定期市となっているが、通年での出店も可能な、新しいいちびのカタチを模索すべきではないか。 |

(次ページへ続く)

| 発言の順序 | 発言する議員 | 質問項目(大項目) | 質問要旨(中項目) | 具体的な内容(小項目) |
|-------|------------------|------------------------|------------------|---|
| 2 | 小林由明 (一問一答方式) | 1. マチナカの変化と今後について | (2)都市環境の維持向上について | <p>①現在、燕市で行っている「創業支援家賃補助金制度」は、商店街などでの起業創業を促進し、創業当初の不安定な経営を支援する効果があると考えている。</p> <p>一方で、最近、物件の多くで老朽化が進んでおり、防災減災の観点でも、その維持管理が適切に行われる必要を感じている。「創業支援家賃補助金制度」についても、対象物件に住宅取得補助同様の要件を付すとともに補助内容を以前の水準に戻し、物件に対する所有者の適切な維持管理と、優良物件での起業創業を促進し、良好な都市環境の維持に努めるべきではないか。</p> <p>②宅建業者が受け取ることのできる報酬は法に上限の定めがあり、低廉価格の取引については、宅建業者が背負うリスクや労力を上回る利益がないため、空き家や空地など低廉価格の取引が積極的に行われにくいという問題がある。</p> <p>こうした問題を受け、国交省は平成30年1月1日報酬額の特例を告示しているが、燕市においても、都市環境の維持向上、移住定住・起業創業の取り組みをより効果的に進めるために、低廉価格の売買や賃貸借について宅建業者の報酬上乘せなど独自の施策を講じ、特に都市機能誘導区域内での不動産流通を促進すべきでないか。</p> |
| | | 2. 中学生のスポーツを取り巻く環境について | (1)経済的負担の実態について | <p>①かねてより、「部活動での経済的な負担が大きすぎて困っている」という声があるが、その背景には、社会体育への参加や、また、保護者や生徒の自主的活動によるものもあると感じている。</p> <p>生徒の多様な学びの場として教育的意義が大きい部活動にあっては、できる限り多くの生徒が参加できる環境を構築していくべきと考えているが、部活動や社会体育などに関連する家庭の経済的負担などの実態調査を行い、中学生を取り巻くスポーツ環境の向上に活かすべきではないか。</p> |
| | | 3. 自治会について | (1)自治会運営の支援について | <p>①自治会長が長年変わらない自治会がある一方で、単年度、または短期間で交代する自治会がある。役員のならみ手不足でお困りの相談も増えている中、「自治会をどのように運営したらよいのか不安である」という相談も増えている。</p> <p>総務省では、自治会、町内会などの運営の参考にと「コミュニティ団体運営の手引き」というものを平成22年に作成公表している。また、全国を見ると「自治会運営マニュアル」などを作成している自治体も増えている。</p> <p>特に防犯防災など、困った時に大きな力を発揮するであろう自治会の意義を考えると、その機能不全は地域住民の安全安心にも影響を与えることから、円滑な自治会運営が行われるよう、せめて運営の参考となるマニュアルを作成するなど、自治会運営の支援を行っていく必要があるのではないか。</p> |

| 発言の順序 | 発言する議員 | 質問項目(大項目) | 質問要旨(中項目) | 具体的な内容(小項目) |
|-------|-------------------|------------------------|-------------------------|--|
| 3 | 樋浦 恵美 (一問一答方式) | 1. 感染症リスク管理支援事業について | (1) PCR検査について | <p>①本市では、新型コロナウイルス感染症へのリスク回避として、PCR検査を行った市内事業所などに対し、検査に係る費用の補助を実施しています。直近の状況として、一般事業所と介護サービス事業所の利用件数と補助額について伺います。</p> <p>②11月4日の臨時会での、感染症リスク管理支援事業の拡充についての説明資料で、検査機関ごとに検査費用の違い、運送費用が0円から6,666円までと差が出ていました。検査方法や手順の違いといったものがあるのか伺います。</p> <p>③第3波といわれる流行を迎え、新潟県では発熱などの症状が出た際は、以前は、保健所へ連絡相談をとされていました。現在は、かかりつけ医など地域の医療機関や、24時間対応の新潟県新型コロナウイルス受診・相談センターへという広報がされています。市内のかかりつけの医院などでも相談が可能なのか伺います。</p> |
| | | 2. ヤングケアラーの実態把握と支援について | (1) ヤングケアラーの実態把握と支援について | <p>①病気や障がいのある家族の介護を担いながら、学校に通っている18歳未満のヤングケアラーについて、厚生労働省は全国の教育現場を対象にした、初の全国的な実態調査を12月にも始め、来年3月ごろ調査結果をまとめるとしています。</p> <p>核家族化や高齢化、共働き、ひとり親家庭の増加といった家族構成の変化により、子供がケアの担い手にならざるを得ない状況があると考えられます。本市として、ヤングケアラーの実態を把握されているのか伺います。</p> <p>②子供が困っている状況を発見しやすいのは、学校現場であると考えます。状況を把握し、支援につなげる仕組みが必要だと思いますが、本市の考えを伺います。</p> |
| | | 3. 包括的な支援体制整備について | (1) 重層的支援体制整備事業について | <p>①少子高齢化・人口減少が進む中、80歳代の親がひきこもりの50歳代の子供を養う8050問題や、介護と子育てを同時に担うダブルケアなど、個人や家族が抱える生きづらさやリスクが複雑化・多様化しています。</p> <p>さまざまなニーズや生活上の課題に対応するため、本年6月に成立した改正社会福祉法では、重層的支援体制整備事業が創設されました。</p> <p>市区町村において、既存の相談支援の取り組みを生かしながら、包括的な支援体制を進めるため、①断らない相談支援、②参加支援、③地域づくりに向けた支援、を一体的に実施するものとしています。</p> <p>来年4月からスタートする重層的支援体制整備事業について、本市の考えを伺います。</p> |

| 発言の順序 | 発言する議員 | 質問項目(大項目) | 質問要旨(中項目) | 具体的な内容(小項目) |
|-------------|---------------|--|------------------------------|--|
| 4 | 長井由喜雄(一問一答方式) | 1. 介護保険計画と特別障害者手当について | (1) 第8期介護保険計画の現状と課題、その反映について | ① 来年度から第8期がスタートし、現在、担当課や介護保険運営協議会などで作成・確認作業がされていることと思う。まずは第7期の到達・成果、そして課題は何か伺う。 ② 8期の計画作りにあたってのポイントは何か。介護保険料をはじめ利用料の負担など、利用者本人とコロナ禍にあって家族の費用負担を考えると、負担の軽減を重要視しなければならないのではないかと考える。考えを伺う。 |
| | | | (2) 特別障害者手当について | ① 特別障害者手当は、精神・身体に極めて重い障害があつて、常時、特別な介護を必要とする在宅で20歳以上の人を対象とするものだが、高齢者で要介護認定を受けている人の周知・申請・認定・支給の状況はどうか伺う。 |
| | | 2. 燕市の会計年度任用職員制度について | (1) 会計年度任用の見直しについて | ① 非正規職員が「会計年度任用職員」となり、9カ月となる。市が定めた任用の条件についてはどう見ているか。対象職員の不満の声が寄せられるが、把握はされているか。見直しの必要性について伺う。 |
| | | 3. コロナ禍にあっての市施設の感染予防対策について | (1) 市施設の感染予防対策について | ① 市役所庁舎をはじめ、市が管理する公の施設における感染予防対策の現状はどうか伺う。また、対応に課題はないか伺う。 ② 特定・不特定を問わず、多くの人が利用する公の施設において、訪問・来館者は個人の責任のもとでの体調管理が前提となっている。現在、顔認識、温度検知、さらにマスクの不使用警告も兼ね備えたサーマルカメラを導入する自治体が増えているが、燕市においても早期導入が必至ではないか。 ③ 教育・保育施設等でも深紫外線による空間除菌や、コスト面からのオゾン水除菌など、今後長期に渡り、ウイルス対策を講じる必要があると思うが、対応について伺う。 |
| 4. 行政運営について | (1) 行政運営について | ① この度の教育長辞任問題に係る経過と、行政運営上の課題及び、その解消の手立てについて伺う。 | | |
| 5 | 柴山唯(一問一答方式) | 1. 妊産婦健診の助成について | (1) 産婦健康診査について | ① 平成29年度から国の母子保健施策の中で産婦健康診査事業が整備され、産婦健診2回分に係る費用を国庫補助の対象にしたが、燕市では助成されていない。 産後すぐの産婦の心身の不調や鬱(うつ)を防ぐため、支援が必要かどうかを把握する機会として産婦健診が有効であり、国の制度を利用し、産婦健康診査を助成することで、より切れ目のない子育て支援の充実した自治体になると考えられるがいかがか。 |

(次ページへ続く)

| 発言の順序 | 発言する議員 | 質問項目(大項目) | 質問要旨(中項目) | 具体的な内容(小項目) |
|-------|------------------|--------------------|--------------------|--|
| 5 | 柴山 唯 (一問一答方式) | 2. 松長小学校の可能性について | (1) 今後の燕市の学校教育について | <p>① 新型コロナウイルスの感染拡大によって、教育現場も大きな変革の時期に来ており、オンライン授業が始まり、少人数学級の実現も議論されている。</p> <p>現在、松長小学校の統廃合が検討されている。他自治体では複式学級、小規模校、小中一貫校など様々な形態の学校を運営し、地域の独自性を引き出しているが、松長小学校はその可能性を検討する前に統廃合の話になっている。その中で今後の燕市の教育について、教育長の考えを伺う。</p> |
| | | | (2) 検討会の延長について | <p>① 松長小学校の児童数が減少し、令和5年度に複式学級ができるという状況があるが、地域住民からは引き続き議論を重ねたいと要望が上がっている。</p> <p>また、今年に入り新型コロナウイルスの影響で検討会が開催できない時期が続いたこともあり、今後も住民が納得するまで検討会を開催し続けるべきと考えるがいかがか。</p> |
| | | | (3) 松長小学校の可能性について | <p>① 昨年度定例会にて、松長地区の公民館について「良い案があれば残す」という市長の回答があった。そこで、例えば小学校の中に公民館機能を移し、小学校と地域コミュニティの交流の場を1カ所に集約することで小学校を存続させてはいかがか。</p> <p>② 小学校は、子供たちのための場所であり、機能性や敷地の規模も申し分ない施設である。今後、地域の検討が進み、統廃合という結果なった場合、松長小学校を新たに児童遊戯・運動施設(公民館機能を保持しつつ)にするという利活用はいかがか。</p> |
| | | 3. スタートアップ支援について | (1) スタートアップ支援について | <p>① 自治体にとって、スタートアップ支援は最重要課題である。多くの自治体では若者の大都市圏への流出に頭を痛めているが、スタートアップの場合、若い人材を必要とするのでその対策という側面もあり、地方創生の重要な施策となっている。来年度には隣接する地区に大学もでき、さらなる産学連携も可能になる。</p> <p>スタートアップ支援をより活用しやすいものにすることで起業を促し、オープンイノベーションを推し進めることで、地域がなお一層発展すると期待できるがいかがか。</p> |
| 6 | 土田 昇 (一問一答方式) | 1. 県内のいじめの件数増加について | (1) 市の実態について | <p>① 県内で2019年度に認知されたいじめは2万390件となり、5年連続で過去最多を更新したと報道された。文科省は教員が積極的にいじめを発見し、早期に介入する方針が定着したとの見解を示しているが、その一方で、識者からは「子供の数が減る中でいじめが減っても良いはず。未然防止に至っていない可能性がある」との指摘もあり、関係者が注意を払うべきと示されている。</p> <p>市内小学校、中学校のいじめについて、どのような状況になっているか伺う。</p> |

(次ページへ続く)

| 発言の順序 | 発言する議員 | 質問項目(大項目) | 質問要旨(中項目) | 具体的な内容(小項目) |
|-------|------------------|-------------------------|---------------------------|---|
| 6 | 土田 昇 (一問一答方式) | 1. 県内のいじめの件数増加について | (1) 市の実態について | <p>② 新型コロナウイルスにより、市内の各小・中学校が一斉休校になったことで、遅れた学習を取り戻すための授業が過密になった。</p> <p>子供の負担増や、親の雇用環境の悪化などで子供がストレスを抱え、いじめの芽を生みやすい状況にあると言えるが、教育現場における現状の認識について伺う。</p> <p>③ コロナ禍の中で、教員や職員も多忙化していると思う。教員や職員の負担を軽減し、いじめにも十分対応できるようにすることが教育委員会の仕事と思うが、今までどのような状況であったのか。また、今後どのように対応していくのか、明確な答弁を求める。</p> <p>④ 文科省は、新型コロナウイルス感染症が不登校にどのような影響を与えているか注視するとしているが、現在、市内の各小・中学校の不登校の実態と、その対応について伺う。</p> |
| | | 2. 子供の貧困対策について | (1) 市の実態と過去の対応・今後の見通しについて | <p>① 今年に入ってから新型コロナウイルスの問題で、一般家庭でも収入の少ない家庭(収入122万円以下)のもとで暮らす子供の数が増えていると報道されている。非正規の増大と、低い賃金が原因とされているが、教育現場ではどのように感じているか。さらに、子供食堂の現場はどのようになっているか伺う。</p> <p>② 今まで子供の貧困対策の中心は小学校・中学校が対象であったと思うが、出生から3歳になるまでの幼い子供の教育が重要だと指摘されている。コロナ禍の問題等々で、詰め込み保育や、保育士の過重労働がまん延していないか、現状の課題と今後の対応について伺う。</p> <p>③ 新聞報道によれば、給食を提供している全国教育委員会のうち、給食費を地方自治体の会計に組み入れ、教員の徴収・管理の負担を減らす努力をしている自治体が26%に及ぶと報道された。文科省は「積極的な導入を求めてきたが浸透していない。今後も粘り強く働きかけていきたい」としているが、市としてどのように対応していくのか伺う。</p> <p>④ 全国的に給食費の未納が増えているという深刻な実態も報道されているが、市の現状はどのような状況か伺う。また、私立、公立も含めて保育園の給食の金額についても伺う。</p> |
| | | 3. 11月15日付の広報つばめの内容について | (1) 人事行政の運営状況について | <p>① 「職員の分限と懲戒処分」の中で、「心身の故障」で休職が45件と示されている。全体の職員数が令和2年度で592人としているが、休職の数が45件とすると、私は大変な状況にあると判断するが、その休職者の補充についてどうなっているのか伺う。</p> <p>② 休職の原因等についてどのように感じているか。その対応についても伺う。</p> |

| 発言の順序 | 発言する議員 | 質問項目(大項目) | 質問要旨(中項目) | 具体的な内容(小項目) |
|-------|-------------------|--------------------------------------|----------------------|--|
| 7 | 田澤 信行 (一問一答方式) | 1. 吉田トレーニングセンター(ビジョンよしだ)の大規模改修計画について | (1)大規模改修の必要性について | <p>①大規模改修計画を策定するにあたり、本施設の改修、改善要望などを市民アンケートなどから収集していると思うが、そのデータから読み取れる「市民の声」をどのように分析したのかを伺う。</p> <p>②大規模改修後の本施設の立ち位置(位置付け)をどのように捉えているのか、また、将来性に対する展望をどのように考えているのかを伺う。</p> |
| | | | (2)改修計画(案)について | <p>①現ちびっこドリームランドにトレーニングルームを移設する第3案は、その移設・拡張費用で15億円かかりますが、トレーニングルーム拡張の必要性と費用対効果としての具体的な数値的な目論見を伺う。</p> <p>②第3案は従来の「動線」を変えることとなります。従来のレイアウトではトレーニングルームの利用者は、トレーニング終了後、そのまま隣接する浴室に移動することが可能でしたが、改修後の動線では1階から2階への移動が必要となりますが、この動線変更は従来からの利用者に理解を得られると考えているのかを伺う。</p> <p>③改修計画の3案作成に当たり、当局で討議した会議の回数並びに延べ時間と参加人数について伺う。</p> |
| | | | (3)基本設計について | <p>①本施設は26年間にわたり多くの市民に親しまれ、地域に定着してきた施設であり、思い入れの強い市民も多くいると思います。今回の大規模改修事業は約15億円という総工費を予定しており、燕市にとって大きな事業となります。</p> <p>既存施設ということもあり、より多くの市民の意見が反映されるべきと考え、本施設内の基本設計(主にレイアウト)について、プロジェクトチームを結成し再検討することを提案します。本提案に対する見解を伺う。</p> |
| | | 2. 働き方改革について | (1)定員管理計画について | <p>①今年3月に策定された「燕市定員管理計画」では、令和7年4月までに12人を減員し、現在の632名から620名を目指すと記載されています。どのような業務改革・業務改善を図り人員削減を行う計画なのかを伺う。</p> <p>②令和元年度の職員一人当たりの年間残業時間は、125.6時間で月平均10時間強とのことですが、残業時間が最長となった職員の年間残業時間を伺う。</p> |
| | | | (2)コロナ禍における働き方改革について | <p>①コロナ禍において、都市圏企業のテレワーク化が推進され、会社の在り方(集合勤務形態)そのものが見直され、地方への移転を検討している企業が増えています。燕市としては、企業誘致の観点からこの事態をどのように捉え行動しているのかを伺う。</p> |

| 発言の順序 | 発言する議員 | 質問項目(大項目) | 質問要旨(中項目) | 具体的な内容(小項目) |
|--------------|-------------------|--|-----------------------|---|
| 8 | 埴 豊 (一問一答方式) | 1. 財政問題について | (1) 令和2年度の財政状況について | ①現在の税込、ふるさと納税の状況について。 ②今後予想される、歳入の減収幅はどれほどかについて。 |
| | | | (2) 令和3年度予算について | ①税込予測について。 ②地方交付税が令和2年度に比べ概算要求段階において約4,000億の減となっているがどのような認識か。 ③ふるさと納税の見込みについて。 ④燕市の令和3年度予算の方向性について。 |
| | | 2. 産業問題について | (1) 燕市産業界のこれまでの推移について | ①令和2年度コロナ禍における全体としての状況について。 ②燕市の各種補助制度の効果とこれからについて。 |
| | | | (2) これからの燕市産業界について | ①新型コロナウイルスの影響が続くであろう令和3年度において、どのような支援が期待されているのか、産業界発展のための燕市の役割について。 |
| 3. 下水道事業について | (1) 下水道事業について | ①燕市の下水道事業の将来像について。 ②現在の終末処理場の維持管理に今後予想される費用と処理費用について。 ③一般会計に大きく依存している現在の状況をどのように考えるのか。 | | |
| 9 | 宮路 敏裕 (一問一答方式) | 1. 新型コロナウイルス感染から市民の命と暮らしを守る施策について | (1) 地域経済情勢の認識と支援策について | ①新型コロナウイルスの経済動向について、本市では企業アンケートやヒアリングを行い公表している。この間、影響緩和の動きもあるが、9月でも5割以上の企業が影響ありとされ、この傾向はさんしん経済研究所が実施している三条・燕地区産業経済動向でも同じである。 さらに、3カ月後の見通しを良いと回答した企業が減っている。本市として、現況の地域経済情勢をどう捉えているか認識を伺う。 ②小規模事業者にも対応している雇用調整助成金の特例措置や、家賃支援給付金は12月まで、持続化給付金は1月15日が申請期限となるが、全国市長会など地方団体では、期間の延長要望や、その他地方経済活性化支援策の要望などを国に対し行っているのか伺う。 ③本市では、年末・年度末にかけて飲食や小売、サービス業などを対象に需要喚起となる支援策を講じているが、その上で、その他特に厳しい小規模事業者に、固定費の補助などで支援することを検討すべきではないかと思うが認識を伺う。 ④県内自治体の中には、新型コロナウイルスの事業者支援策として、このタイミングで住宅リフォーム助成の拡充をした自治体があるが認識しているのか。地方創生臨時交付金を活用しての実施できるのか検討すべきでないか認識を伺う。 |

(次ページへ続く)

| 発言 の 順序 | 発 言 す る 議 員 | 質問項目 (大項目) | 質問要旨 (中項目) | 具 体 的 な 内 容 (小 項 目) |
|---------------|--------------------------------------|---|--|---|
| 9 | 宮路 敏裕 (一問一 答方式) | 1. 新型コロナ ウイルス感 染から市民 の命と暮ら しを守る施 策について | (2) 生活困窮に 追い込まな いための支 援施策につ いて | <p>①生活困窮に関わる市民からの相談について、現況はどうか。その特徴や支援制度に結びついているのか伺う。</p> <p>②国の貸付金制度である緊急小口資金や総合支援資金の利用について現況を伺う。</p> <p>③生活保護について「申請は国民の権利」であることを広く周知徹底し、必要な人がすべて利用できるような相談体制が求められるが、現況を伺う。</p> <p>④本市では、5月にひとり親家庭等の生活支援策として、児童扶養手当受給世帯を対象にした「臨時特別給付」を実施した。年末から年度末にかけてさらなる支援が必要なのか、検討すべきでないか伺う。</p> |
| 10 | 齋藤 信行 (一括質 問一括 答弁方 式) | 1. 健康寿命 について | (1) 健康寿命に 対する取り 組みにつ いて | <p>①広辞苑には、「健康」は「健やかなこと、達者、丈夫、壮健」。「寿命」は「いのち、よわい、生命。転じて、物がいたまらずに保つ期間」と出ています。</p> <p>以前の委員会での健康寿命に対する質疑において、「市の取り組みの中で、市独自の健康寿命はどうか」と伺ったこともありましたが、その後、市の健康寿命は国、又は県の中でどの位置なのか伺います。また、各課の連携についても伺います。</p> <p>②現在は、人生100年時代と言われ、定年は60歳ですが、定年の延長も言われはじめています。市では人生100年時代の健康サポート事業など、人生100年時代の健康づくりマイストーリーの中で、重点施策として取り組んでいます。今年も新型コロナウイルス感染症の対策などもあり、健診・がん検診受診者数が前年度の10月までの受診者数よりは少ないと伺っている。現状はどうか、今後はどうか伺います。</p> <p>③人生100年時代の取り組みも市で始まりました。最近では人生100年をどう生きるかなどいろいろな書物が出ておりますが、退職後、ライフネット生命保険株式会社など設立し、社長・会長を務めた出口治明さんの書「還暦からの底力—歴史・人・旅に学ぶ生き方」の中で、「WHOが1965年に人口が全人口の7%を超えると高齢化社会と呼ぶとの見解を発表したのがきっかけである」と書いてあります。</p> <p>その後50年の間に、その当時の65歳が現在の75歳に相当するのではないかとされているそうです。その他にもリンダ・グラットン・アンドリュー・スコットさんの「ライフ・シフト—100年時代の人生戦略」の書の中でも、「2050年までに日本の100歳以上の人口は100万人を突破する」と書いてあります。</p> <p>そこで還暦になった市長に、今後の市の健康寿命のあり方、市長の人生100年時代の過ごし方など伺います。</p> |

(次ページへ続く)

| 発言の順序 | 発言する議員 | 質問項目(大項目) | 質問要旨(中項目) | 具体的な内容(小項目) |
|-------|-----------------------|------------------|---|---|
| 10 | 齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式) | 2. 観光施策について | (1) 産業観光の現状について | <p>①産業観光・修学旅行の受け入れについては、新型コロナウイルス感染症の中で、他県からの受け入れが例年よりは多いと伺っているが、現状はどうか、今後はどうか伺います。</p> <p>②産業史料館もそれに伴って、修学旅行の受け入れも増加となったと伺ったが、来年に対するPR等は行ったのか、アンケートなどもあったのか伺います。</p> |
| | | (2) インフラリズムについて | <p>①大河津分水路の改修事業では「にどこ工事みえ～る館」など、事業の説明を行っているところもありますが、それに伴って市のPRなど観光面での連携などあるのか伺います。</p> | |
| | | (3) 観光産業の可能性について | <p>①観光産業については、市独自の産業観光などいろいろな可能性があると思うが、市としての観光産業に対する考えを現状と今後について伺います。</p> | |
| | | 3. 小中学校の教育課題について | (1) 教員の働き方改革について | <p>①5年ごとに実施されている国際教員指導環境調査(TALIS)が2018年度に行われ、昨年度その結果が公表された。その結果から、日本の教員の実態として「日本の教員は世界の中で最も多忙である」、「日本の教員が多忙となる原因は授業以外にある」の2点が話題になった。この2点に関し、燕市教育委員会としてどのように受け止めているのか伺います。</p> <p>②今年度は通常の業務に加え、新型コロナウイルス感染症対策により業務量が増加しており、教職員の一層の多忙化が懸念される。2018年度の国際調査(TALIS)の結果と比較し、市内教職員の今年度の勤務時間はどの程度増加しているのか。また、その実態を踏まえ、どのような指導・支援を学校に行っているのか伺います。</p> <p>③この調査では、日本の教員は他国と比べ、研修など職能開発にかかる時間が少ないことも明らかになった。教員の質を上げるには、研修等により教員が学び、その指導力を磨くことが重要である。教員の働き方改革に取り組むことで、職能開発にかかる時間がより減ることが懸念されるが、燕市の教員の研修等の実態を伺います。</p> |
| | | (2) 新教育長に所見を | <p>①今年度のノーベル化学賞の有力候補に挙げられた中部大学教授の山本尚(ひさし)氏はその著書の中で、「研究は、課題に対する答えを出す必要はなく、出してはいけないのである」と記している。</p> <p>あらかじめ定められた答えを「出す」ことがこれまでは求められていたが、これからの変化の激しい社会を生きる子供たちには答えが「出る」深い学習が求められていると考えるが、教育長の所見を伺います。</p> <p>②新教育長に教育に対する考えを伺います。</p> | |

| 発言の順序 | 発言する議員 | 質問項目(大項目) | 質問要旨(中項目) | 具体的な内容(小項目) |
|-------|------------------|------------------|---------------------------|---|
| 11 | 堀 勝重 (一問一答方式) | 1. 第2次燕市総合計画について | (1) 中間評価に基づく施策等の見直し版について | <p>令和元年度に「第2次燕市総合計画」の中間評価に基づき施策等の見直しが行われ、令和2年3月に改定されております。</p> <p>しかし、その後まもなく新型コロナウイルス感染症が日本にも上陸し、感染が拡大し、現在もいまだ収束していない状況にあります。</p> <p>①改定後間もなく、新型コロナウイルス感染症の感染が広がりを見せ、いまだ収束の兆しが見えない中、改定時と現在の社会情勢は大きく変わってきております。令和2年3月に改定された、燕市の最上位計画である「第2次燕市総合計画」について、どのような認識でおられるのかお伺いします。</p> <p>②今後、改めて「第2次燕市総合計画」の見直しを行うのかどうなのかも含め、どのような対応をされていくのか考えをお伺いします。</p> |
| | | 2. 学校教育について | (1) 中学校における部活動指導員配置事業について | <p>教職員の働き方改革に関して言えば、部活動指導員配置事業は、部活動顧問の負担軽減や、生徒の技術力の向上等に繋がるものと思っており、良い取り組みであると認識しております。</p> <p>①中学校における部活動を、どのように捉えておられるのか、教育委員会としての認識をお伺いします。</p> <p>②現在、市内中学校における部活動指導員配置の現状等についてお伺いします。</p> <p>③部活動指導員配置事業の運用は、どのように行っておられるのかお伺いします。</p> |
| 12 | 柳川 隆 (一問一答方式) | 1. 学校給食について | (1) 給食への異物混入のこと | <p>①毎月の異物混入等の対策はどのようなことをしているのか伺う。</p> <p>②10月5日付けの報道によれば、「金属片を検査機関に出して、異物の特定・混入経路・混入に至った原因を調査中」とあるが、どのような調査結果が出たのか伺う。</p> <p>③新しい教育長の就任は9月25日、この事案の発生は9月28日、就任4日目ということだが、初めて聞いたとき、どのように思い何を指示したか教育長に伺う。</p> |
| | | 2. デマンド交通について | (1) 「きららん号」のこと | <p>①ここ3年の利用状況について伺う。</p> <p>②利用向上のため、どのようなサービス事業を行っているのか伺う。</p> <p>③今後、新たなサービス事業はどのようなことを考えているのか伺う。</p> |
| | | 3. 子供たちの読書について | (1) 図書館の利用のこと | <p>①子供たちの公共図書館と、学校図書館の利用割合について小・中学校別で伺う。</p> <p>②図書館(公共と学校)の利用率向上のために、どのような事業を実施しているか伺う。</p> <p>③市内の小・中学生全員に市立図書館で借りた本の履歴が分かる「読書通帳」を交付。それを小・中学校の図書館を利用した分も記帳できるようにし、子供たちの図書館の利用推進に繋げるという方法はいかがか伺う。</p> |

| 発言の順序 | 発言する議員 | 質問項目(大項目) | 質問要旨(中項目) | 具体的な内容(小項目) |
|-------|----------------|---------------------------------|--------------------|--|
| 13 | タナカ・キン(一問一答方式) | 1. 公共施設のバリアフリー化について | (1) 階段の手すりの高さについて | <p>① 公共施設は、障がい者等への配慮が「義務」になっていて、建物のバリアフリー化が求められている。階段の手すりについても、取り付け位置の高さには気を配る必要があり、一般的には約75センチメートルから約80センチメートルが最適だと言われている。</p> <p>また、中央公民館の前は青少年ホームで、新築された側の階段には2段手すりが設置されていて、上段約95センチメートル。下段は約70センチメートルの高さである。</p> <p>その中で、燕図書館の階段はどうかといえば、手すりの取り付け位置は約1メートルでバリアフリー化が進んでいない。図書館の利用者は障がい者や高齢者だけでなく児童も多い施設である。改善すべきと思うが伺う。</p> |
| | | 2. 建設現場等におけるワーク・ライフ・バランスの推進について | (1) 「快適トイレ」の設置について | <p>① 最近、工事現場で交通誘導をしている女性が目につくようになった。また、重機の操作や、大型トラックを運転する女性も増えているのだという。男性の職場だと思っていた工事現場や、建設現場に女性が進出するのは良い傾向だと思う。まさに女性活躍社会である。</p> <p>そんな中で、ふとトイレはどうなっているか気になった。これまで現場のトイレといえば、縦長のボックスタイプで和式のトイレである。災害ボランティアに行くと、これまではこのタイプのトイレで汚いイメージだけでなく、ズボンを下ろすと服が必ず汚れてしまうのである。</p> <p>何とかならないかと探していたら、工事現場で使用する仮設トイレで「快適トイレ」というのが見つかった。国土交通省では、建設現場において男女とも働きやすい環境とするため、ワーク・ライフ・バランスを推進し環境整備を進めてきていて、女性技術者等に不評であったトイレについては、平成28年10月1日以降に入札手続きを開始する土木工事から「快適トイレ」を原則化することとし「快適トイレ」の標準仕様を決定している。</p> <p>燕市における土木工事では、まだ使用されていないが、県や県内の他の自治体で導入している事例があれば伺う。</p> |
| | | 3. 道の駅「国上」について | (1) 道の駅「国上」の集客のために | <p>① 道の駅「国上」に関する一般質問は、平成29年9月と12月、平成30年3月と6月、そして今年の9月定例会とこれまで5回行っている。</p> <p>平成29年9月定例会で、稼げる「道の駅」とするために物販と食堂の売上金額に関して質問を行い、売れている「道の駅」やサービスエリアを研究してもらいたいと質問している。対する答弁は「それらはモデル的な場所なので全力で取り組んでいきたい」とのことであった。これまでに、どういう調査、研究を行ってきたか伺う。</p> |

(次ページへ続く)

| 発言の順序 | 発言する議員 | 質問項目(大項目) | 質問要旨(中項目) | 具体的な内容(小項目) |
|-------|--------------------|-----------------|--------------------|---|
| 13 | タナカ・キン (一問一答方式) | 3. 道の駅「国上」について | (1)道の駅「国上」の集客のために | <p>②先の9月定例会では、食堂に有名店から出店してもらえたら集客につながると質問した。それに対して「人気のある飲食店舗から出店していただき、ネームバリューを活かして集客、売り上げの促進につなげることは、一つのアイデアとして大変参考になる」との答弁であった。</p> <p>道の駅「ながおか花火館」が9月18日にオープンしたので出かけてみた。レストランもあるが、それとは別にフードコート内に12店舗が出店している。もう、こうでなければ人が集まらないと言ってもいいのではないだろうか、「一つのアイデア」と言っていたが他にいいアイデアがあれば何う。</p> <p>③売り上げについて、成果の評価を数字で単純に表すことは難しいが、年間の売り上げについて(今年はコロナ禍のため除く)市はどう評価しているか何う。</p> <p>④何事も目標を設定することが大切であるが、道の駅「国上」の売り上げについての目標額について何う。</p> |
| 14 | 中山 眞二 (一問一答方式) | 1. ビジョンよしだについて | (1)改築改装費について | <p>①現況について。</p> <p>②概算予算編成時における積算方法について。</p> <p>③改装にあたって重視したところはどこか。</p> <p>④見積りをするにあたって参考にしたものは何か。</p> |
| | | | (2)運営について | <p>①現在の利用状況はどのようになっているか。</p> <p>②収支について。</p> <p>③運営方法の改善点は何か。</p> |
| | | | (3)指定管理者について | <p>①指定管理者からの提案はあるのか、それを協議する場はあるのか何う。</p> <p>②ビジョンよしだ単独の指定管理について。</p> |
| | | | (4)今後について | <p>①プロジェクトチームを作ったの改装計画について。</p> |
| | | 2. ふるさと納税について | (1)クラウドファンディングについて | <p>①現在のプロジェクトとその実績について。</p> <p>②プロジェクトの選定は、どのようにして行われるのか。</p> <p>③プロジェクトの選定に、議会はどのように関与するのか。</p> |
| 15 | 岡山 秀義 (一問一答方式) | 1. 子供・子育て支援について | (1)児童虐待防止について | <p>①新型コロナウイルス感染症が拡大した今年上半期に、全国の児童相談所が対応した虐待件数は9万9,413件で、前年同期より1割増えたことが厚生労働省より公表されました。</p> <p>また、新潟県警が発表した県内の2019年児童虐待件数は931件と前年から31%増え、過去最多となり深刻な問題と捉えています。外出自粛や接触を避ける「新たな生活様式」で、自宅での虐待が潜在化している恐れがあります。</p> <p>当市においての対策強化はどこまで整っているのか、また、昨年度、本年度現時点での児童虐待通告件数についてお伺いします。</p> |

(次ページへ続く)

| 発言の順序 | 発言する議員 | 質問項目(大項目) | 質問要旨(中項目) | 具体的な内容(小項目) |
|-------|------------------|-----------------------------|--------------------------------|---|
| 15 | 岡山秀義 (一問一答方式) | 1. 子供・子育て支援について | (1) 児童虐待防止について | <p>② 通告件数把握後、解決に向けてどのような取り組みをしているのかお伺いします。</p> <p>③ 子供たちの未来のために、一人ひとりの尊い「いのち」のために、当市はこれから児童虐待防止にどのように向き合っていくのかお伺いします。</p> |
| | | 2. 学校教育について | (1) G I G A スクール構想について | <p>① 文部科学省が全国の学校に対して提示したG I G A スクール構想ですが、主体的に進めていかなければいけないのは各自治体であります。</p> <p>ハード面、ソフト面とあらゆる準備が必要となり、多くの課題が山積しています。当市において、新型コロナウイルス感染症長期化、今後の第三波に備え、オンライン授業を実現するための準備を進めていますが、現時点での進捗状況についてお伺いします。</p> <p>② 教員のI C T化を格差なく実現することが目標として掲げられていますが、どのように活用指導されているのかお伺いします。</p> <p>③ 不登校児童生徒や、病気療養中の生徒にはオンライン活用は有効であり、出席扱いとすることも含めて検討すべきと考えますが、対応についてお伺いします。</p> |
| | | 3. 燕市スポーツ振興について | (1) 燕市つばくろいきいきスポーツクラブについて | <p>① 中学生対象として体力・技術の向上や、部活動以外の運動に挑戦したい生徒のニーズに応えるための燕市つばくろいきいきスポーツクラブですが、成果と運営にあたっての課題についてお伺いします。</p> <p>② 学校における働き方改革により、部活動の存続すら危うい状況に疑懼の念を抱かざるを得ません。</p> <p>燕市つばくろいきいきスポーツクラブは、スポーツを通して心と身体を育てる大切な場となると考えますが、今後どのように取り組んでいかれるのかお伺いします。</p> |
| 16 | 大岩勉 (一問一答方式) | 1. 燕市指定管理者制度の体質改革を進めるべきでないか | (1) 吉田トレーニングセンター大規模改修計画の目的について | <p>① ウォータースライダーを廃止予定であるが、改修後の利用者状況数をどのように考えているのか伺う。</p> <p>② 利用者増を考えた利用時間の見直しも必要と思われるが、計画にあるのか。</p> <p>③ 10月12・13・14日と臨時休館されたが、原因と復旧に3日も要した理由を伺う。</p> <p>④ 体育館と電源を共用されているが、大規模改修工事の中で電源の分離計画はされていないのか伺う。</p> |
| | | | (2) 吉田ふれあい広場の安全確保課題について | <p>① 広場内施設の不良改修は、管理者責任で修繕されるのか、燕市が修繕されるのか現状を伺う。</p> <p>② 西側駐車場の構内街路灯が、4灯のうち3灯が灯具部分だけが撤去されたままであるが、いつ頃撤去されたのか、改修計画はされているのか伺う。</p> |

(次ページへ続く)

| 発言 の 順序 | 発 言 す る 員 | 質 問 項 目 (大項目) | 質 問 要 旨 (中項目) | 具 体 的 な 内 容 (小項目) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 16 | 大岩 勉 (一問一 答方式) | 2. 小中学校職 員の働き方 改革の問題 点について | (1) 小中学校職 員の働き方 改革の問題 点について | <p>①昨年4月に働き方改革関連法が施行されました。新型コロナウイルス感染の世界的な広がりもありますが、働き方改革は教育現場でどの程度浸透しているとみるべきか見解を伺う。</p> <p>②教職員の長時間労働是正に係る問題点・課題点が以前から言われており、業務プロセスをどう見直すかが必要と言われていますが、取り組み状況を伺う。</p> <p>③放課後の部活動指導に、働き方改革で不満や、支障が起きてはいないのか伺う。</p> <p>④新型コロナウイルス感染予防対策として、登校前の検温が求められる中、子供の体温などの情報を把握し、教職員の負担軽減が期待されるアプリの導入が進んでいるが、燕市の現状を伺う。</p> |
| | | 3. 少子化対策 と燕北地区 の開発に新 たな一手を | (1) 少子化対策 と燕北地区 の開発に新 たな一手を | <p>①国土交通省は、自動料金収受システム(E T C)専用のスマートインターチェンジ(I C)12カ所の整備を高速道路会社に許可したと報道されていました。燕市も高速道路のアクセスの向上と燕北地区の開発促進に寄与できると思われるスマートインターチェンジ新設に取り組むべきと思うが、市長の見解を伺う。</p> <p>②松長小学校生徒の減少が進んでいます。燕市は市営住宅の建設もしましたが、生徒数の増加は一時的なものでした。少年スポーツで盛んな少年サッカー場を地区に建設されたらどうでしょうか。教育長の考えを伺う。</p> |